



リハビリテーション
はな いえ
花の舎病院

医療法人社団友志会

365日



■リハビリテーション花の舎病院概要

【所在地】 栃木県下都賀郡野木町南赤塚1196-1

【院長】 吉田行弘 【病床数】 114床 【透析ベッド数】 35床

最大180

リハビリテーションは、病状が安定し始めた回復期に、いち早く集中的に行うことが効果的だと言われています。

リハビリテーション花の舎病院では、365日休まず、1日あたり最大180分のマンツーマンでのリハビリテーションを行うことで、早期の社会復帰・在宅復帰を目指しています。

患者さんおひとりおひとりに寄り添いながら、総合的なリハビリテーションを提供します。



在宅復帰率

全国平均79%
2021年度回リハ病棟協会調査



リハビリテーション実績指数

リハビリテーションを提供したことによる改善を示す数値です。実績指数40以上が要件となっています。



平均在院日数

脳血管系 : 85.5日
整形外科系 : 58.6日
廃用症候群 : 65.2日

2021.4-2022.3のデータです

対象疾患	入院上限日数
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	150日
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷	180日
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	90日
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	90日
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	60日
股関節又は膝関節の置換術後の状態	90日

0分

入院生活の 過ごし方



リハビリスペース

太陽光が差し込む
明るい空間で
気持ちよくリハビリを



院内には
言語聴覚室も
あります



リハビリ専門スタッフが、患者さんの
個々の能力に合わせたリハビリ
を365日休まず提供します。

起床

朝食

リハビリ

昼

6:00

8:00

9:00~12:00

12:00

着替えや洗面など、朝の支度をします。日常生活全てがリハビリという考えに基づき、ご自身でできることはご自身で行います。

食事は食堂で提供されます。他の患者さんと食卓を囲むことで孤食を防ぎ、入院中もコミュニケーションの機会を大切にします。

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士によるマンツーマンのリハビリを、365日休むことなく、毎日2~3時間行います。看護師と介護士は、口腔ケアやトイレ、入浴、食事、服薬など、日常生活の自立を見据えてサポートします。

バランスの満点の食事を支え、一度行事食されるなど、中も食事を楽しめるようにします。

食堂
談話室



自然を感じられる
大きな窓が自慢の食堂



ADL室



家屋を模した環境下で、より実

お食事の例

行事食の例



毎日のメニュー例



透析

35床の透析室

透析専門の医師が担当します



透析が必要な方も入院中にリハビリをしながら治療を受けていただけます。

病室



一床ごとに、無料でご利用いただけるテレビがついています。また、院内はWi-Fiも完備しております。

食

リハビリ

夕食

消灯

00

13:00 ~ 17:00

18:00

22:00

の良い栄養
事でリハビリ
ます。月に
食が提供さ
入院生活
で季節の移
めます。

和室や洋室、キッチン、トイレなど、実際の家屋を模したADL室を設置しており、より実践的な日常動作の練習を行うことができます。生活基本動作に加え、各種福祉道具を利用した動作の練習なども行います。

— 飲食に関して —
差し入れなど、病院食以外の食品を召しあがる場合、看護師にご相談ください。

お疲れさまでした。皆さんがゆっくりお休みいただけるよう消灯後はお静かにお願いします。

ドライブシミュレーターで運転技能の評価や練習ができます



そのほか家庭浴を使う訓練も!



実践的な動作訓練

浴室

身体状況に合わせて、個人浴もごさいます



主な施設設備

レントゲン



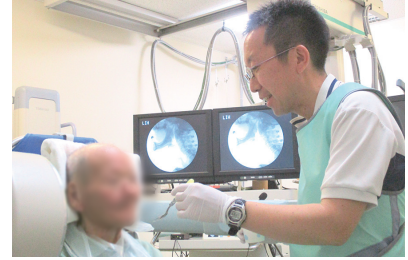
入院時に骨や肺などの撮影をすることで、患者さんの身体状態を把握します。

CT



脳血管系疾患や骨折などの、患部の状態を観察することができます。

嚥下内視鏡・造影検査



嚥下機能の検査をすることで、患者さんが安全に飲食できる食事の形態を見極めます。

多職種連携による医療

多職種がチームを組み、それぞれの専門性を発揮しながら患者さんおひとりおひとりに合ったリハビリテーションの計画を立てます。

患者さんがいち早く、安心して在宅復帰ができるよう、職員が一丸となってサポートします。



医師



管理栄養士



理学療法士



言語聴覚士



作業療法士



薬剤師



ソーシャル
ワーカー



介護士



看護師



必要なお持ちもの

入院時に必要なもの

- 健康保険証
- 医療費に関する各種認定書
(限度額認定証等)
- 介護保険証
- 前医療機関の各種書類
(診療情報提供書、看護サマリー、
リハビリサマリー、画像データ等)
- 退院証明書

入院生活中に必要なもの

- 洗面用具 (歯磨きセット、コップ等)
- 入れ歯容器、洗浄剤
- フェイスタオル (汗拭き、手拭き用)
- 下着類、靴下 (5~7組)
- 運動しやすい服 (3~5組)
- パジャマ
- 靴 (かかとがあり、底が滑りにくいもの)
- エコバック
(入浴時の着替えや使用済みの
衣類をいれるもの、2つ)
- ボックスティッシュ (1個)
- マスク (サージカルマスク)

当院はリハビリ病院として、入院中の更衣もリハビリの一環であると考えています。そのため患者さんには日中できる限りご持参の私服をご着用いただき、就寝時はパジャマに更衣していただいています。

お薬について

- お薬類 (飲み薬、塗り薬、目薬など) は、現在使用しているものを全てお持ちください。
- お薬手帳をお持ちの方は併せてご持参ください。

- ※ 当院では、入院時保証金はお預かりしておりません。
- ※ 室内着のレンタルセットもございます。
- ※ バスタオルやシャンプー、リンスなど、入浴に関するものはご用意がございます。
- ※ 香りの強い整髪料や香水などのご使用や、刃物など危険物の持ち込みはご遠慮ください。
- ※ 当院では、おむつセット (1日単位の定額料金システム) を導入しております。
使用途中のおむつを持参される際は、入院時に病棟看護師にご相談ください。
- ※ スタッフへの贈答品はご遠慮させていただきます。ご了承ください。

入院依頼の流れ

1

患者さんの入院医療機関担当者からご一報ください

地域医療連携室

TEL.0280-54-0366

FAX.0280-23-1181

2

診療情報提供書の送付

入院中の医療機関から診療情報提供書をお送りいただきます。

3

入院判定

診療情報提供書などの内容をもとに、入院判定を行います。
必要に応じてソーシャルワーカーがご家族へお電話でお話を伺う場合があります。

4

入院のご連絡

入院の日程をご家族またはご担当者にご連絡します。
入院当日は原則として、10時30分までに当院へお越しください。

リハビリテーション はな いえ 花の舎病院

医療法人社団友志会

代表電話

0280-57-1200

FAX

0280-57-2480

〒329-0112

栃木県下都賀郡野木町南赤塚1196-1



花の舎病院

